

令和6年度
優良公民館群馬県教育委員会表彰
表彰館事例集

令和6年度 **優良公民館群馬県教育委員会表彰 表彰館一覧**

- ・ 前橋市上川淵公民館
- ・ 高崎市金古南足門公民館

前橋市上川淵公民館

施設情報

所在地：前橋市後閑町35番地

設置年月日：昭和59年4月1日

開館時間：9:00～22:00

運営主体：前橋市教育委員会事務局生涯学習課

R5年度総来館者数：36,304人

特色ある事業（活動）

【少年教室】

◇参加対象：小学生・中学生

◇事業内容：(1)ウクライナ料理教室 (2)キッズエンジニア教室 (3)鉄道講座 (4)薬剤師さんの仕事を学ぼう！ (5)ソーラークッカーを作ろう！ (6)脱穀糲摺り体験と郷土民俗資料館の見学 (7)子どもプログラミングチャレンジ (8)プラネタリウムがやってくる (9)中学生英検対策講座



◇事業成果

地域の方、団体、企業と連携し多様な体験プログラムを提供できたことで、子どもの興味、関心の幅が広がったことと考える。

(1)では、海外の食文化を体験するとともに、国籍に関わらず楽しく交流できることを実感できた。(2)(4)では、楽しみながら職業について考えるきっかけとなった。(5)では自然エネルギーの素晴らしさと環境問題を考えることができた。(6)では、昔の農業、農機具の発展、稲穂からお米になるまでの過程を学ぶとともに地元の歴史に触れ、地域の方との交流を図ることができた。(9)では、普段公民館に来ることが少ない中学生を講座に取り込むことができた。

また、土日や夏休みに実施することで、子どもの居場所作りにも貢献できた。

学習内容を深めるための取組

アンケートでは、「小さい子どもと本格的な料理を教わられて満足」（ウクライナ料理教室、保護者）、「薬を作るのは楽しかかなと思ったけれど、少し難しかった」（薬剤師さんの仕事を学ぼう！）、「試験の雰囲気になれてよかった」（中学生英検対策講座）、「自分でお米の脱穀ができて嬉しかった」（脱穀糲摺り体験）等の感想があった。

今後も引き続き、様々な観点から多様な体験プログラムを提供し、子どもの豊かな成長を応援していきたい。また、地域の指導者、団体、企業等と連携した取り組みの充実を図るとともに、さらなる人材の発掘に努めたい。

多様な利用者参加促進のための環境整備

周知方法については、今までは公民館報への掲載やチラシ配布が主となっており、目にとまらない児童、生徒、保護者もいたのではないかと思う。最近では、保護者が所持するスマートフォンや、学校配布のタブレット端末に直接募集チラシ等をデータ配信できる仕組みができたことから、今までより多くの児童、生徒に情報が届き、より多くの参加が得られることを期待する。

自己点検・評価等の実施状況

講座終了後のアンケート

講座のアンケート結果は、「とてもよかった」が83%、「よかった」が15%で、全体の98%を占めており、全体的に好評であったといえる。「楽しかった」、「勉強になった」、「もっとやりたい」と言った感想が多く寄せられおり、関心を持って取り組んでもらえたものと思う。

教育委員会事務点検・評価

施策の目標として「公民館及びコミュニティセンターにおける社会教育の充実」を設定し、事業内容について毎年、外部委員を入れて評価・点検を実施している。

高崎市金古南足門公民館

施設情報

所在地：高崎市足門町930番地5

設置年月日：平成17年3月1日

開館時間：9:00～21:00

運営主体：高崎市教育委員会中央公民館

R5年度総来館者数：11,656人

特色ある事業（活動）

【金古南足門桜フェスティバル】

◇参加対象：地域住民

◇事業内容

目立った地域資源がないという住民の声を受け、地域内に多く植樹されている桜を地域資源と捉え直し、お花見と地域づくり活動が融合したフェスティバルを企画、令和4年度から開催に至った。

桜をテーマにした「春の作品展」、お茶やお菓子を楽しみながら参加者同士が気軽に交流できる「SMILE CAFÉ」、図書ボランティアによる「紙芝居・読み聞かせ」、公民館主催のワークショップ、公民館や地域の活動団体による「STAGE SHOW」などを実施。地元中学校美術部生徒の作品を地域に展示する「マチカド美術館」と協力し、中学生の力作を館内各所に展示し、来場者の回遊を生み出し、学童保育クラブの児童が制作した桜のウォールアートや利用団体から提供を受けたバルーンアートなど幅広い地域住民の作品が館内を彩った。

◇事業成果

来場者には公民館に初めて来た人や現役世代の家族などが多く見られ、地域に興味関心を持つきっかけとなった。また、様々な地域団体との協力をきっかけに地域につながりが生まれた。中学校や民生委員児童委員などとの連携がより強化され、公民館と地域の共催事業も増加するなど、コロナ禍で弱体化しつつあった地域活動の復活に向け大いなるアクセラレーションになることができた。さらに、地域に新規に開所したグループホームやホームを運営する認定NPO法人とも新たな協力関係が生まれた。



学習内容を深めるための取組

- ・主催講座ではその時々々の住民ニーズに応えられるように努めており、事前に講師と講座の趣旨や住民要望を共有し、内容を講師に一任せず密に調整して実施している。
- ・子どもを対象とする主催講座では、学童保育と連携して、ニーズの把握や公民館までの送迎、講座への参加協力などの協力体制を整えている。

多様な利用者参加促進のための環境整備

- ・公民館と地域住民有志が協働し立ち上げたInstagramアカウント「金古南足門情報局」で、公民館だよりや主催講座お知らせ、実際の講座の様子や参加者の感想などを発信している。
- ・公民館だよりが地域の回覧板で存在感を発揮するよう、毎号、図書ボランティアに描いてもらった主催講座に関連した1コマイラストを掲載している。
- ・公民館入口には季節に合わせたイラストを描いたウェルカムボードを設置、館内正面にも毎朝書き換える「今日の一言」が書かれたボードを設置している。それらが利用者と職員、また利用者同士の会話の種となり、講座開催のきっかけとなったり、ボードを読むことを楽しみに来館する利用者がいたりするなど非常に好評である。

自己点検・評価等の実施状況

- ・主催講座では受講者アンケートを実施し、講座の企画・運営に活かしている。アンケート結果はお礼状とともに講師にも送付し、フィードバックすることで講師自身の学習にも寄与している。
- ・公民館全体の評価については、区長や地域の団体、学校等の代表者で組織される公民館運営推進委員会を年度2回開催し、評価や意見をいただいている。